

研究課題名	本邦における急性心不全急性期治療と予後との関係性に関する多施設レジストリー研究 (REALITY-AHF 研究)
当センターの研究責任者	大石 醒悟
研究目的	急性心不全患者が救急外来へ到着してからの急性期の管理について、多施設レジストリーによりその実態を明らかにし、予後との関連まで検証する。
利用する情報	<p>■対象 非代償性心不全 (入院治療を必要とする心不全) により入院された方</p> <p>■利用情報の内容 電子カルテに記載されている診療記録</p> <p>■利用情報の該当期間 2014年7月～2015年8月</p>
利用情報の他機関への提供の有無 (有の場合はその名称)	本研究で収集された臨床研究データを他の臨床試験データと併せて統合し解析する研究「急性非代償性心不全の実態に関する多施設観察研究」が奈良県立医科大学で計画されており、本研究の臨床研究データを二次利用する。
個人情報の取り扱い	氏名や住所等の個人を特定できる内容は削除する。
企業等からの資金提供の有無 (有の場合はその名称)	無し
お問い合わせ先	担当者名：大石 醒悟 電話番号：079-293-3131
備考	